

奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

- ① 化学療法分科会
- ② 緩和ケア分科会
- ③ 相談支援分科会
- ④ 院内がん登録分科会
- ⑤ 地域連携分科会
- ⑥ 放射線療法分科会

令和 6 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

化学療法分科会

分科会開催日	令和 7 年 2 月 27 日（木）（オンライン開催）
令和 6 年度 実績	1. <u>がん薬物療法セミナーの開催</u> ※拠点病院としての事業 がんプロフェッショナル養成プランとしての事業 ○令和 6 年 12 月 9 日（月） 「高齢者のがん診療について」 大阪国際がんセンター 腫瘍内科 副部長 坂井 大介先生 2. <u>多地点 web カンファレンスの実施</u> 各医療機関における実際の症例を基に、症例検討を行った。 内容によっては関係診療科の医師が参加し、内容の充実化を図った（計 4 回予定・次ページ参照） 3. <u>化学療法医療チーム研修会の開催</u> 令和 7 年 3 月 16 日（日）開催 テーマ：妊孕性温存治療を含め AYA がん患者のために 奈良県の病院は何をすべきか？ ー奈良県 AYA ネットワーク設立に向けてー
令和 7 年度 予定	1. <u>がん薬物療法セミナーの開催</u> 2. <u>定期的に多地点 web カンファレンスを開催</u> 関係部門の医師、薬剤師、看護師など多職種の参加を促し、さらなる内容の充実化を図る。 3. <u>化学療法医療チーム研修会の開催</u> 県内のレベルアップを目標に、チーム研修会を開催予定
その他	分科会の委員を中心に行っている自主研究グループ「奈良がん医療研究会（まほろば塾）」を年 2 回、継続して開催する予定である。

化学療法分科会実績

令和6年度 化学療法 web カンファレンス

第1回	7月4日(木)	「初回治療時に腹膜播種を伴った小腸 GIST の長期生存例」 発表者 【国保中央病院】 杉森 志穂先生	・奈良医大附属病院 ・国保中央病院 ・大和高田市立病院 ・近畿大学奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター
第2回	9月26日(木)	「難治性 DLBCL に対しエブコリタマブ (BiTE 製剤) を使用した経験」 発表者 【奈良県総合医療センター】 小林 真也先生	・奈良医大附属病院 ・国保中央病院 ・大和高田市立病院 ・近畿大学奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・市立奈良病院 ・済生会中和病院
第3回	12月19日(木)	「HER2 陽性転移・再発乳癌に対する治療について検討」 発表者 【大和高田市立病院】 加藤 達史先生	・奈良医大附属病院 ・大和高田市立病院 ・南奈良総合医療センター ・天理よろづ相談所病院
第4回	2月27日(木)	「2つの血液がんを合併し治療に難渋した症例」 発表者 【市立奈良病院】 工藤 大輔先生	・奈良医大附属病院 ・国保中央病院 ・大和高田市立病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・市立奈良病院 ・済生会中和病院

令和6年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

緩和ケア分科会

分科会開催日	令和7年3月28日 オンライン開催予定		
令和6年度 実績	① まほろば PEACE 緩和ケア研修会 計 10 回 (県内拠点病院、地域がん診療病院、支援病院で開催)		
	開催医療機関	開催日	受講者数
	奈良県立医科大学 附属病院	8月25日(日)	26名
		12月21日(土)	26名
		1月25日(土)	28名
	市立奈良病院	7月21日(日)	22名
	近畿大学奈良病院	8月4日(日)	12名
	天理よろづ相談所病院	9月8日(日)	11名
	奈良県総合医療センター	10月6日(日)	42名
	南奈良総合医療センター	10月26日(土)	15名
	国保中央病院	11月23日(土・祝)	11名
	済生会中和病院	2月2日(日)	14名
	② 研修会等の開催 →別紙参照		
	③ 緩和ケア地域連携カンファレンス〔奈良医大のみ〕		
	開催日	テーマ	参加人数
	4月18日	訪問看護でのネガティブな感情表出のケアと工夫	25名
	5月16日	骨セメント注入療法により除痛を得た一例	24名
	6月20日	特殊型 PCA ポンプのプログラム投与による夜間鎮静を行った在宅緩和ケア症例の報告	23名
	7月18日	未告知の乳がん末期状態にある壮年期女性のエンドオブライフケアの経験	23名
	以降 1 回/月開催：累計 216 名参加		

	④ 奈良県における緩和ケアの実態調査 1) 病院における緩和ケア提供体制 目的：奈良県における緩和ケア供給体制を明らかにする 期間：2025 年 2 月 1 日～2 月 28 日 対象：奈良県病院名簿（75 施設） 回答：28 施設（回答率：37.3%） 2) がん診療に携わる医師を対象としたニーズ調査 目的：奈良県の診療現場における（がん疼痛緩和を中心とした）緩和ケアに関するニーズを明らかにする 期間：2025 年 2 月 1 日～2 月 28 日 対象：県内の病院（75 施設）に勤務するがん診療に携わる医師 回答：45 名
令和 7 年度 予定	① まほろば PEACE 緩和ケア研修会 ② 看護師に対する研修会（ELNEC-J） ③ 在宅緩和ケア地域連携事業「がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会」 ④ 緩和ケアチーム研修会 ⑤ 緩和ケア地域連携カンファレンス

令和6年度 奈良県がん診療連携協議会（緩和ケア分科会） 取組報告

◆当該がん医療圏において顔の見える関係性を構築し、がん医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研修やカンファレンスの開催

指針：Ⅱ4（5）、Ⅵ4（5）

医療機関名	事業内容 (研修名、テーマ、開催日、受講者数、開催方法等)
奈良医大	在宅緩和ケア地域連携事業「がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会」 テーマ：Advance Care Planning ～日本の臨床現場でおこなうACP支援とは？～ 開催日：2024/11/17（日） 受講者：172名 開催方法：オンライン
奈総医セ	在宅緩和ケア地域連携事業「在宅緩和ケア研修会」 テーマ：ターミナル患者が自宅に帰るために～退院「前後」をチームで支える～ 開催日：2025/3/6 参加者：104人（会場35名、Zoom69名） 開催方法：ハイブリッド（会場、オンライン）
市立奈良	在宅緩和ケア地域連携事業 ・テーマ：終末期患者さんのリハビリテーション 開催日：2024/7/11 参加者：104名（現地） ・テーマ：IVR療治（画像下治療）について 開催日：2024/9/12 参加者：84名（現地）
近大奈良	○第42回生駒緩和医療研究会 一般講演「緩和医療におけるステロイド関連精神障害について」 特別講演「ACPの光と影～きれいにまとめないACP」 開催日：2024/4/11 参加者：114名（現地）15名、(Zoom)99名 ○第43回生駒緩和医療研究会 一般講演「がん患者の麻薬の便秘」 特別講演「痛み治療の考え方の進歩～医療用麻薬を正しく使うために」 開催日：2024/11/14 参加者：39名（現地）10名、(Zoom)29名 ○第13回がん地域連携ケースカンファレンス 開催日：2024/8/1 参加者：55名（現地）14名、(Zoom)41名 ○第14回がん地域連携ケースカンファレンス 開催日：2025/2/20 参加者：53名（Zoom）
天理よろづ	地域連携カンファレンス～がんの在宅療養を支えるために～ 内容：急性期病院、訪問診療・看護、地域保健薬局の三者による症例検討会 開催日：2025/2/27 参加者：40名
南奈良	テーマ：緩和ケアが支えるがん治療 開催日：2025/3/6 ハイブリッド形式：46名（現地参加 26名、Web参加 20名）

◆地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発

指針：Ⅱ5（3）③、Ⅵ5（3）※他の分科会で開催される場合はその旨記載ください。

医療機関名	事業内容 (研修名、テーマ、開催日、受講者数、開催方法等)
奈良医大	他分科会で開催予定
奈総医セ	公開講座 テーマ：「みんなで支えるがん治療」 開催日：2025/2/8 参加者：92名
市立奈良	市民公開講座 テーマ：人生会議と角膜移植 開催日：2024/11/23 参加者：18名（現地）
近大奈良	○第12回市民公開講座 テーマ：「知ってほしい！がん治療のこと」 ①肺がんの外科的治療②がん治療のための栄養クイズ③大腸がんの内視鏡治療 開催日：2024/9/21 参加者：86名 ○ミニ講義 2024/9/18 大腸がんの基礎知識 参加者：9名 2024/11/20 血液がんの基礎知識 参加者：10名 2025/1/15 抗がん剤の基礎知識 参加者：15
天理よろづ	○一般市民対象講演会 テーマ：がんゲノム検査ってなに？ 開催日：2024/4/17 参加者：25名 ○ミニレクチャー テーマ：抗がん剤ってどんなの？ 開催日：2024/7/24 参加者：16名 ○ミニレクチャー テーマ：“食べるよろこび”が広がる食事のはなし 開催日：2024/11/27 参加者：13名
南奈良	テーマ：健康フェスティバル2024（ウィッグ体験会、がん相談会） 開催日：2024/11/17 参加者：15名

◆当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修の実施

指針：Ⅵ1（１）〔奈良医大必須条件/他病院は任意ですが、ELNEC-J等開催されている場合はご記載ください〕

医療機関名	事業内容 (研修名、テーマ、開催日、受講者数、開催方法等)
奈良医大	○ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム 開催日：2024/9/7（土）、9/8（日） 開催方法：9/7 オンライン、9/8 実地 受講者：16名 ○緩和ケアチーム研修会 テーマ：緩和ケアにおけるBCP ～東日本大震災における学びから、大規模災害時の緩和ケアを考える～ 開催日：2024/10/6（日） 開催方法：ハイブリッド 受講者：36名
奈総医セ	-
市立奈良	-
近大奈良	○看護師に対する研修会 第3回 がん看護セミナー～乳がんの知識を深めよう～ 開催日：2024/12/14(土) WEB形式 受講者：9名（Zoom） ○第6回がん治療アップデートセミナー 「婦人科がん UP-TO-DATE」、「頭頸部がん（みみ・はな・のど・くち・くびのがん）治療 UP-TO-DATE」 開催日：2024/10/17（木） WEB形式 受講者：20名
天理よろづ	-
南奈良	-

令和 6 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

相談支援分科会

分科会 開催日	第 1 回：令和 6 年 6 月 27 日（木）（オンライン開催） 議題：令和 5 年度がん相談支援センター利用状況調査の集計結果報告 令和 6 年度各相談支援センター活動計画について 等 第 2 回：令和 7 年 3 月 4 日（火）（オンライン開催） 議題：がん相談支援分科会次年度活動計画立案 令和 6 年度奈良県がん相談支援従事者研修会報告 等
令和 6 年度 実績	1. 治療と仕事両立支援の継続 ①社会保険労務士の就労相談の継続実施(実施回数/利用者数) 奈良医大:8 回/14 名 県総合:8 回/13 名 市立奈良:5 回/18 名 天理よろづ 4 名 ②ハローワーク・産業保険総合支援センターとの連携の継続 ハローワーク出張相談(実施回数/利用者数) 奈良医大:43 回/23 名 県総合:20 回/21 名 複数の医療機関で両立支援コーディネーター研修修了者あり ③療養・就労両立支援指導料に関する院内への周知、指導料算定に至った相談事例の 病院間での共有 近大奈良:算定 3 件 その他医療機関では相談者に療養・就労両立支援指導料に関する情報提供を行った ものの、相談員や社労士のサポートにより患者自身で解決に至った。 2. 県内のがん相談員のスキルアップ ①奈良県がん相談支援従事者研修会の開催 令和 7 年 2 月 8 日(土)「がん相談員のメンタルヘルスとセルフケア」 申込者：20 名(県外 3 名含む) ②国立がん研究センターの相談員指導者研修受講要件を満たす相談員の育成 受講要件に必要な研修の受講、県内相談員対象の研修会運営・企画への参加促進 複数の相談員が相談員基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、QA 研修を受講 認定がん専門相談員の取得、小児がん専門相談員研修受講、情報支援研修受講、そ の他 Web 研修等の受講により、各相談員がスキルアップに努めた。 3. 患者サロン運営の充実・強化 ①サロン運営者会議等でピアサポーターと連携し、患者サロンの充実を図る 南奈良総合医療センターで5年ぶりに患者サロン再開 令和 6 年 12 月開催のピアサポーター養成研修修了者がサロンに参加された医療 機関もあった。各医療機関でサロンの定期開催、ミニ講義、サロン運営者会議の開 催、外部のサロンへの参加等により、サロンの充実とピアサポーターとの連携を図 っている。 ②働く世代等が参加可能な機会の検討及び、他団体で実施しているサロン・集いに関 する情報提供 各医療機関において相談者の属性やニーズに合った他団体主催のサロンの情報提 供を行った。市の広報誌を活用する、院外で開催のサロン参加時に情報提供するな ど、自施設のサロンについての広報も積極的に行われた。 4 ライフステージに応じた療養環境への支援 ①小児・AYA 世代へのがん相談支援センター周知への取り組み及び対象者のニーズ把 握に努める 対象者のリストアップや AYA 世代専用のスクリーニングシートを活用し、ニーズの 把握や他部門との連携、相談員の介入を行った。AYA 世代患者が少ない医療機関に おいても、相談時に対応できるよう資料の整備などの準備を整えている。 ②主科とがん相談支援センターが連携し、高齢者のニーズ把握及び対応に努めるとと

	もに、主治医等との対話促進を軸にした意思決定支援を行う 高齢者がん診療ガイドラインの活用、意思決定支援フローチャートの整備、高齢者が多い診療科との連携等を実施。他部門から意思決定支援の協力依頼が増加するなどの効果がみられている。 5. 相談支援センターの院内職員への周知と相談機能の強化 ①外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)することができる体制の整備 冊子「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」の活用や患者向け情報誌発行、周知のフロチャート作成や会議体での発信など、患者とスタッフ両方向への周知に取り組んだ。今年度の利用状況調査(患者アンケート)ではがん相談支援センターを知ったタイミングや適切な時期に知れたかを問う質問を追加し、結果の分析により周知方法の再考に活用する予定。 ②患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準ずるものが統括するなど、がん相談支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備 診療部門との連携ができるよう医師をセンター長とする、がん診療を担う部門が参加する委員会を発足するなど、病院組織からの支援を得ながら相談対応ができる体制を各医療機関で構築。 奈良医大では今年度がん相談支援センターが正式に中央部門に位置付けられた。
令和7年度 予定	1. 治療と仕事両立支援継続 ①社会保険労務士の就労相談の継続実施 ②ハローワーク、産業保健総合支援センターとの連携 ③療養・就労両立支援指導料に関する院内への周知、指導料算定に至った相談事例の病院間での共有 2. 県内がん相談員のスキルアップ ①令和7年度奈良県がん相談支援従事者研修会の開催(Ⅲ群登録申請予定) 拠点病院等の相談支援に携わる者に対する継続的かつ系統的な研修の実施 ②国立がん研究センターの相談員指導者研修受講要件を満たす相談員の育成 受講要件に必要な研修の受講、県内相談員対象の研修会運営・企画への参加促進 ③スキルアップに必要な研修の受講 3. 患者サロン運営の充実・強化 ①サロン運営者会議等でピアサポーターと連携し、患者サロンの充実を図る ②働く世代等が参加可能な機会の検討及び、他団体で実施しているサロン・集いに関する情報提供 4 ライフステージに応じた療養環境への支援 ①小児・AYA 世代へのがん相談支援センター周知への取り組み及び対象者のニーズ把握に努める ②主科とがん相談支援センターが連携し、高齢者のニーズ把握及び対応に努めるとともに、主治医等との対話促進を軸にした意思決定支援を行う 5. がん相談支援センターの周知と相談機能の強化 ①外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)することができる体制の整備 国立がん研究センター作成の冊子「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」の活用など、医療機関の実情に応じた対応を実施。分科会等で好事例を共有。 ②患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準ずるものが統括するなど、がん相談支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備

令和 6 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

院内がん登録分科会

分科会開催日	<u>院内がん登録分科会</u> メールにて開催 令和 7 年 3 月 11 日（火）
令和 6 年度 実績	<u>院内がん登録分科会 がん登録研修会</u> 日 時：令和 7 年 2 月 15 日（土） 場 所：Zoom によるオンライン形式 参加人数：35 施設 54 名参加 研修内容： ・がん登録データでできること、できないこと ・がん登録のための泌尿器系がんの知識 ・奈良県からの情報提供 <u>院内がん登録分科会</u> ・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告 ・がん登録研修会開催報告
令和 7 年度 予定	令和 7 年度活動予定 ・令和 7 年度院内がん登録 分科会 がん登録研修会 開催 ・院内がん登録分科会開催 （年 1 回）

令和 6 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

地域連携分科会

分科会開催日	令和 7 年 2 月 20 日（オンライン開催）
令和6年度 実績	1.<u>がん薬物療法中の口腔管理における地域連携」をテーマにした講演</u> 令和 7 年 2 月 20 日分科会内で、奈良県歯科医師会の青木久美子理事による講演と、がん診療における医科歯科連携の現状や課題についてのディスカッションを行った。 2. <u>地域でがん診療をおこなっている医療機関へのがんゲノム医療の推進</u> 周辺医療機関や当院の患者用に、遺伝子パネル検査周知についてのチラシ・ポスター・冊子を作成し配布した。 3.<u>希少がんの診療に関する県内のネットワーク構築</u> ・近畿希少がん連携協議会の中で今後の連携イメージについて共有した ・院内の体制および県内医療機関との連携フローについて検討をおこなっている
令和 7 年度 予定	・奈良県歯科医師会と連携し、がん患者の口腔ケア対策のサポートを実施継続 ・希少がんの診療に関する県内のネットワーク構築

令和 6 年度 奈良県がん診療連携拠点協議会 分科会報告

放射線療法分科会

分科会開催日	令和 6 年 2 月 1 5 日（メール会議）
令和 6 年度 実績	分科会メール会議の開催： 今年度もメール会議を開催し、県内の放射線治療体制の確認及び 情報共有を行った。 令和 6 年度 放射線療法分科会 ■エクセル様式を配布し、以下各施設の状況を確認 ＜放射線治療の体制等＞ ・放射線治療患者数（年間総数）の増減 ・ここ最近の変化 ＜放射線治療機器等＞ リニアック、ガンマナイフ、陽子線治療装置、高線量率小線源治療装置 （Ir 等）、前立腺癌ヨード永久挿入装置、他 台数の確認 ＜放射線治療医等＞ 常勤放射線治療担当医数、常勤放射線治療専門医数、非常勤放射線治療 担当医数、他 人数の確認 ＜その他＞ 【全体講評】 これまでは COVID-19 対策とその影響について記載していた だいていたが、一段落ついたようなので今回は項目から除外し た。 全体の患者数はほぼ横這いで、前立腺癌や乳癌などで寡分割照射 が広がりつつある一方で、ロボット手術導入の影響で前立腺癌症 例が減少している施設もあるよう。
令和 7 年度 予定	引き続き定期的にメール会議を開催し、県内の放射線治療実施施 設間の協力関係の強化をさらにすすめて行く予定である。